

令和6年度 林分条件調査表

森林管理署	下北森林管理署
物件番号	3
物件名	製品生産及び森林環境保全整備事業(高野山国有林外)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量										最寄り市町村からの距離 km	備考												
									本数	材積 m ³	m ³ /本	N	L	計	伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設				林地保全		土場作設等 h	砂利数量 m ³	薬剤散布 (25%以下) ℓ	鉄板規格*枚数						
															方法	数量 m ³	方式	数量 m ³	フォワーダ片道運搬距離 m	数量 m ³	クワフル付きトラクタ片道運搬距離 m	数量 m ³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m			2種編組 m	緑化 m ²										
720に	水涵保	カラマツ	91	一般	列状間伐(1伐2残)	11.84	33	28	2,615	1,452	0.56	681	46	727	全木	1,452	プロセッサ	727	380	727	8,100	727	中												川内庁舎	8.4		
720へ	水涵保	アカマツ	91	一般	列状間伐(1伐2残)	1.99	33	22	449	143	0.32	65	9	74	全木	143	プロセッサ	74	867	74	8,100	74	中												川内庁舎	8.4		
720と3	水涵保	アカマツ	91	一般	列状間伐(1伐2残)	2.72	33	22	613	196	0.32	86	12	98	全木	196	プロセッサ	98	1,000	98	8,100	98	中												川内庁舎	8.4		
720ち1	水涵保	アカマツ	71	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.59	33	20	834	282	0.34	127	19	146	全木	282	プロセッサ	146	764	146	8,100	146	中													川内庁舎	8.4	
720ち2	水涵保	アカマツ	91	一般	列状間伐(1伐2残)	1.42	33	20	316	102	0.32	45	6	51	全木	102	プロセッサ	51	472	51	8,100	51	中													川内庁舎	8.4	
751い1	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.5	33	32	898	939	1.05	492	2	494	全木	939	プロセッサ	494	669	494			中													川内庁舎	17.1	
751い2	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.87	33	22	1,299	503	0.39	226	38	264	全木	503	プロセッサ	264	244	264			中													川内庁舎	17.1	
751い3	水涵保	スギ	60	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.25	33	36	46	55	1.19	28	0	28	全木	55	プロセッサ	28	93	28			緩													川内庁舎	17.1	
751い4	水涵保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.13	33	44	28	43	1.52	22	0	22	全木	43	プロセッサ	22	25	22			緩													川内庁舎	17.1	
751は	水涵保	スギ	61	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.29	33	20	1,238	448	0.36	211	21	232	全木	448	プロセッサ	232	160	232			中													川内庁舎	18.1	
751ほ1	水涵保	スギ	61	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.83	33	20	1,059	386	0.36	182	18	200	全木	386	プロセッサ	200	569	200			中													川内庁舎	18.1	
759は1	水涵保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	31.20	33	26	10,857	6,611	0.61	3,355	136	3,491	全木	6,611	プロセッサ	3,491	604	3,491			中													川内庁舎	18.5	
764い2	水涵保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.42	25	20	594	212	0.36	107	6	113	全木	212	プロセッサ	113	684	113	1,500	113	中													川内庁舎	19.6	
764い3	水涵保	スギ	57	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.76	25	22	2,308	1,050	0.45	539	15	554	全木	1,050	プロセッサ	554	740	554	1,500	554	中													川内庁舎	19.6	
764ろ1	水涵保	スギ	40	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.75	25	18	713	190	0.27	93	7	100	全木	190	プロセッサ	100	997	100	1,500	100	急													川内庁舎	19.6	
764ろ2	水涵保	スギ	40	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.30	25	18	1,110	297	0.27	143	10	153	全木	297	プロセッサ	153	1,296	153	1,500	153	中													川内庁舎	19.6	
784い2	水涵保	スギ	66	保育間伐(活用型)	定性間伐	4.66	18	36	368	421	1.14	210	14	224	全木	421	プロセッサ	224	304	224	1,000	224	中													川内庁舎	21.8	
784い5	水涵保	スギ	61	保育間伐(活用型)	定性間伐	12.97	18	30	1,376	1,267	0.92	667	11	678	全木	1,267	プロセッサ	678	277	678	1,000	678	中													川内庁舎	21.8	
784い6	水涵保	カラマツ	63	保育間伐(活用型)	定性間伐	15.60	16	24	1,637	726	0.44	316	69	385	全木	726	プロセッサ	385	429	385	500	385	中													川内庁舎	21.3	
784い7	水涵保	スギ	60	保育間伐(活用型)	定性間伐	9.02	17	24	1,376	687	0.50	356	10	366	全木	687	プロセッサ	366	1,731	366	500	366	中													川内庁舎	21.3	
合計						122.11			29,734	16,010	0.54	7,951	449	8,400																								

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0°~20°、中:20°~30°、急:30°以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編組および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

3号物件

林小班	森林作業道延長距離	
720に外19	概ね	17,670 m

別紙

検知業務請負作業内訳書

素材検知業務請負(高野山国有林外)

単位: m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
第3号	素材	(1)の業務	4,032	
		(2)の業務	1,848	
		(5)の業務	2,520	
		合計	8,400	

検知業務請負(作業内容)

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、材積計算を行い、送状(概算引渡物件明細書)を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知(縦、横、高さを測る)を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。